

3年 算数

一人でも計算はかせになれるよ

「たし算・ひき算のひっ算」

3年 組

()

一人でも

たし算のひっ算はかせになれるよ no1 (ふく習へん)

3年 組 ()

P 3 8

そうたさんとこはるさんは、文ぼう具を買いに行きました。



そうたさんは、えんぴつと消しゴムを買います。何円になりますか。

1 このもんだいで分かっていることをせいりしよう。

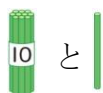
- ・文ぼう具コーナーには、えんぴつと消しゴムとノート と下じきの4つがおいてある。
- ・そうたさんが買うのは、えんぴつと消しゴムなので、ノートと下じきは考えない。
- ・ねだんは、えんぴつ (3 8) 円、消しゴム (5 6) 円で、どちらも (2) けた。
- ・この2つをあわせるので、(たし 算)になる。しき (3 8 + 5 6)
- ・(2) けたどうしのたし算を頭の中で考えるのは、むずかしかった。
- ・でも、(1) けたどうしのかんたんなたし算にできた。それは、(ひっ 算) だ。
- ・このもんだいもたし算のひっ算で計算してみよう。

2 数えぼうでたしかめながら、38 + 56のひっ算のしかたを思い出そう。

< 数えぼう >

< ひっ算 >

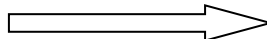
① まず、



と を分けて、へやに入れるよ。

(くら い) をそろえてかくんだった。


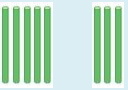
	10 のへや	のへや
えんぴつ	10 10 10	5 5 5 5 5
消しゴム	10 10 10 10 10	5 5 5 5 5
合わせて		

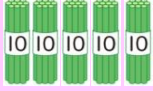





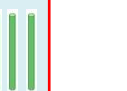
	十のくらい	一のくらい
	3	8
+	5	6
<hr/>		

② つぎに、 をあわせるよ。

(-) のくらいから計算するんだった。

えんぴつ  のへや  のへや



消しゴム   + 

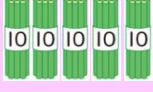
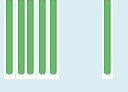

合わせて  

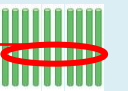

	十のくらい	一のくらい
	3	8
		+
+	5	6
<hr/>		
		14

ちょっとまって!!
のへやには10本しか入らないんだよ。


十のくらいに (くり上げる) というんだった。

えんぴつ  のへや  のへや

消しゴム   + 


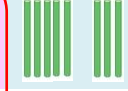
合わせて  

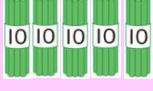


	十のくらい	一のくらい
	3	8
		+
+	5	6
<hr/>		
		4

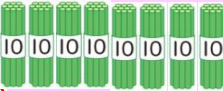

10本より多くなったときは、10本をたばにして  のへやに入れるんだったよ。

③ そのつぎに、 をあわせるよ。



(+) のくらいを計算するんだった。

えんぴつ  のへや  のへや

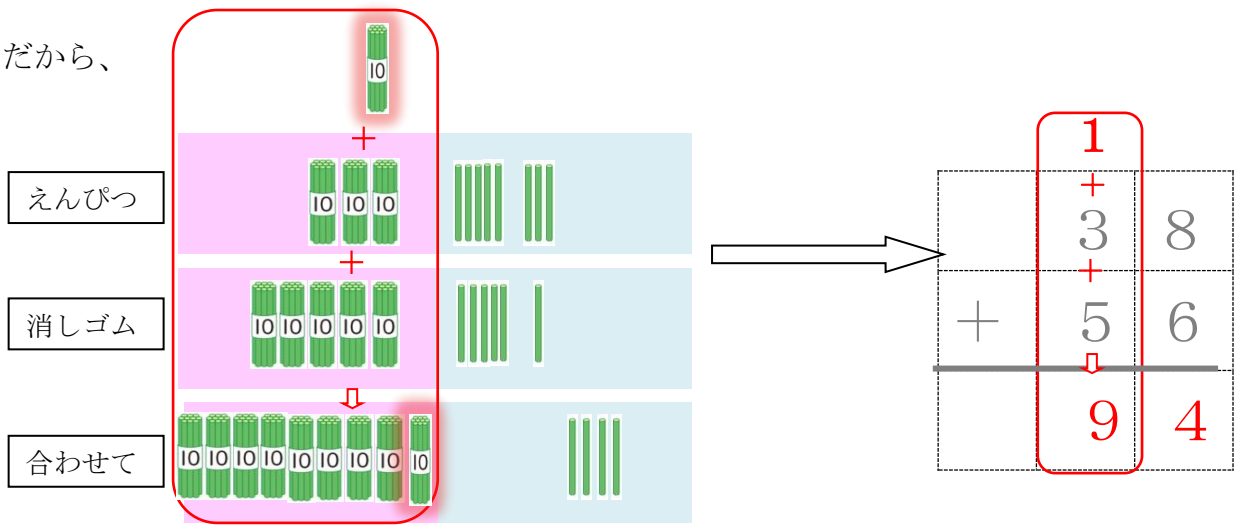
消しゴム   + 

合わせて  

	十のくらい	一のくらい
	3	8
	+	
+	5	6
<hr/>		
	8	4

ちょっとまって!!
 も  のなかまになったんだった。

だから、



④ こたえは、(**94**) 円。

3 このもんだいで思い出した、たし算のひっ算のしかたをまとめよう。

たし算のひっ算のしかたは、

- ① (**くらい**) をそろえてかく。
- ② くらいの (**小さい**・**大きい**) (**一**・**十**) のくらいから計算する。
※こたえが 10 をこえたら、大きいくらいに (**くり上げる**) 。
- ③ くらいの (**小さい**・**大きい**) (**一**・**十**) のくらいを計算する。

(2けた) + (2けた) のひっ算のしかたについて、

(**よく思い出したよ**・思い出した・少し思い出したかな)。

今日の学習は、(**とても楽しかった**・楽しかった・少し楽しかった)。

4 学習したことを自分のものにするために、れん習もんだいをしよう。

㊦ $24 + 56$

㊧ $75 + 68$

㊨ $88 + 12$

	十の くら い	一 の くら い
	1	
	2	4
+	5	6
<hr/>		
	8	0

	1	
	7	5
+	6	8
<hr/>		
1	4	3

	1	
	8	8
+	1	2
<hr/>		
1	0	0

(**百**) のくらいにくり上げることもあった。

これで、ふく習はかんぺき！

ようし、もっとたし算のひっ算はかせになるぞ～。

一人でも

たし算のひっ算はかせになれるよ no2

3年 組 ()

☆ ふく習は大じょうぶだから、もっとむずかしいもんだいにちょうせんだ～！

P 38・39 そうたさんとこはるさんは、文ぼう具を買いに行きました。



こはるさんは、ノートと下じきを買います。何円になりますか。

1 このもんだいで分かっていることをせい理しよう。

- ・文ぼう具コーナーには、えんぴつと消しゴムとノート と下じきの4つがおいてある。
- ・こはるさんが買うのは、ノートと下じきなので、えんぴつと消しゴムは考えない。
- ・ねだんは、ノート (154) 円、下じき (237) 円で、どちらも (3) けた。
- ・この2つをあわせるので、(たし 算)になる。しき (154 + 237)
- ・(3) けたどうしのたし算は、これまで ひっ算で計算したことが (ある・ない。)
- ・これまでに (2) けたのたし算のひっ算はしたことがあるので、そのときと同じように計算してみよう。

2 数えぼうを使いながら、154 + 237のひっ算のしかたを考えよう。


< 数えぼう >
 100 があるから、へやをふやそう。

< ひっ算 >
 (百) のくらいがいるな。

① まず、100 と 10 と 1 を分けて、へやに入れるよ。

	100 のへや	10 のへや	1 のへや
ノート	100	10 10 10 10 10	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
下じき	100 100	10 10 10	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
合わせて			

	百の くら い	十の くら い	一 の くら い
	1	5	4
+	2	3	7

② つぎに、 をあわせるよ。

(一) のくらいから計算しよう。

			1	
	1	5	4	
			+	
+	2	3	7	
<hr/>				
			1	

③ そのつぎに、 をあわせるよ。

(+) のくらいを計算しよう。

			1	
	1	5	4	
			+	
+	2	3	7	
<hr/>				
		9	1	

どうして十のくらいが9になるかと言うと、
(くりあげた1と5と3をあわす)から。

④ それから、 をあわせるよ。

(百) のくらいを計算しよう。

			1	
	1	5	4	
			+	
+	2	3	7	
<hr/>				
	3	9	1	

⑤ だから、こたえは (**391**) 円。

3 このもんだいで分かったことをまとめよう。

3けたどうしのたし算のひっ算のしかたは、2けたどうしのたし算のひっ算のしかたと（ **同じ** ）だ。
 たし算のひっ算は、けた数が（ **大きく** ）なっても、同じように計算できる。

3けたどうしのたし算のひっ算のしかたについて、
 （よくわかったよ・わかった・少しわかったかな）。
 今日の学習は、（とても楽しかったよ・楽しかった・少し楽しかった）。

4 学習したことを自分のものにするために、れん習もんだいをしよう。

㊦ $269 + 105$ ㊧ $308 + 304$ ㊨ $612 + 157$

	百の くらい	十の くらい	一の くらい
	2	6	9
+	1	0	5
	3	7	4

百のくらいにくり上げることもあるね。

		1	
	3	0	8
+	3	0	4
	6	1	2

		1	
	6	1	2
+	1	5	7
	7	6	9

3けたどうしのたし算のひっ算ができるようになって、
 少したし算のひっ算はかせにちかづいたよ。

一人でも

たし算のひっ算はかせになれるよ no3

3年 組 ()

☆ 3けたどうしのたし算のひっ算のもっとむずかしいもんだいにちょうせんだ～。

P40 265 + 178をひっ算で計算しましょう。

1 このもんだいを考えるために、分かっていることをせいりしておくよ。

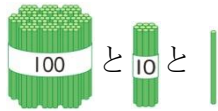
- ・このもんだいは、(3) けたどうしの (たし) 算。
- ・たし算のひっ算は、けた数が (大きく) なっても、(同じ) ように計算できる。
- ・この3けたどうしのたし算のひっ算は、くり上がりが、(-) のくらいと (+) のくらいの (2) 回ありそうだ。
- ・このもんだいは、くり上がりに気をつけて計算してみよう。

2 数えぼうを使いながら、265 + 178のひっ算のしかたを考えよう。

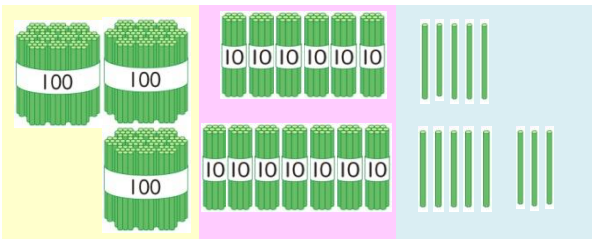
< 数えぼう >

< ひっ算 >

① まず、

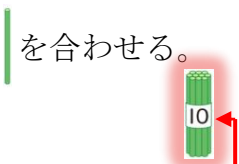


(くらい) をそろえてかく。

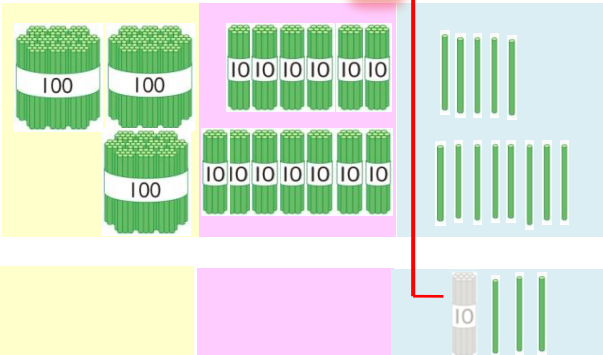


	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	2	6	5
+	1	7	8
<hr/>			

② つぎに、

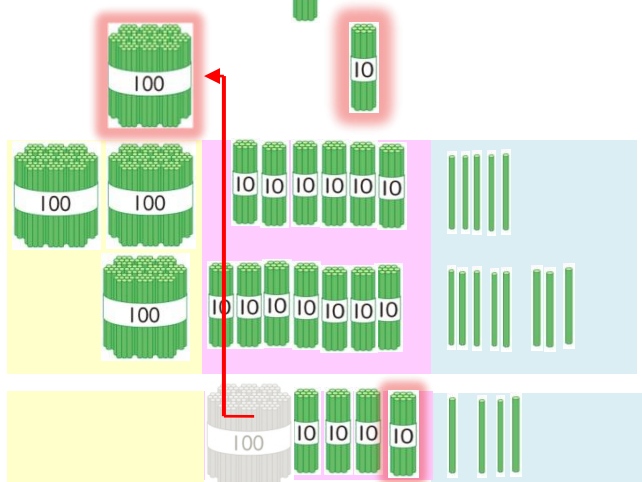


(-) のくらいから計算する。



	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	2	6	5
+	1	7	8
<hr/>			
			3

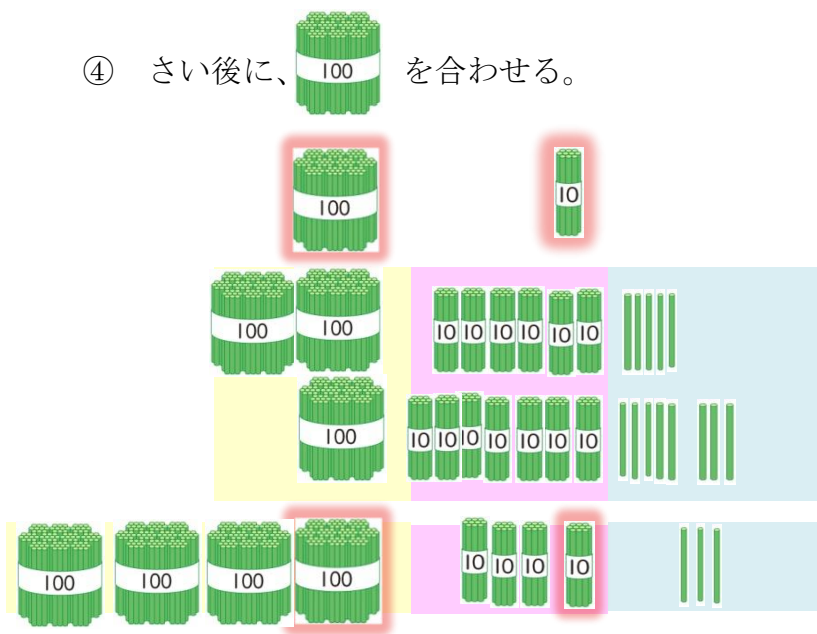
③ そのつぎに、10 を合わせる。



(+) のくらいを計算する。

	百の くらゐ	十の くらゐ	一の くらゐ
	2	6	5
+	1	7	8
		4	3

④ さい後に、100 を合わせる。



(百) のくらいを計算する。

		1	1
	2	6	5
+	1	7	8
	4	4	3

⑤ こたえは、(4 4 3)。

3 このもんだいで分かったことをまとめよう。

265 + 178 のように、くり上がりが2回あるたし算のひっ算も、くり上がりが1回のたし算のひっ算と (同じ) ように計算できる。

くり上がりが2回あるたし算のひっ算のしかたについて、

(よく分かったよ・分かった・少し分かったかな)。

今日の学習は、(とても楽しかったよ・楽しかった・少し楽しかったかな)。

4 学習したことを自分のものにするために、れん習もんだいをしよう。

㊦ $359 + 451$

㊧ $538 + 267$

㊨ $508 + 292$

	百の くら い	十の くら い	一 の くら い
	1	1	
	3	5	9
+	4	5	1
<hr/>			
	8	1	0

	1	1	
	5	3	8
+	2	6	7
<hr/>			
	8	0	5

	1	1	
	5	0	8
+	2	9	2
<hr/>			
	8	0	0

一のくらのいや十のくらの
0は、(かく・かかない)。

2回くり上がりがあるたし算のひっ算ができるようになって、もっとたし算のひっ算はかせにちかづいたよ。

一人でも

たし算のひっ算はかせになるよ no4

3年 組 ()


☆ 3けたどうしのたし算のひっ算のくり上がりはもうかんぺきだよ。

P41 634 + 589をひっ算で計算しましょう。

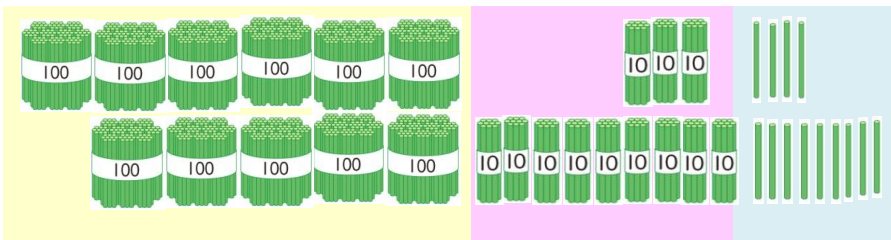
1 このもんだいを考えるために、分かっていることをせい理しておくよ。

- ・このもんだいも、(3) けたどうしの (たし) 算。
- ・たし算のひっ算は、けた数が (大きく) なっても、(くらい) をそろえてかき、(-) のくらいからじゅんに計算できる。
- ・この3けたどうしのたし算のひっ算が、たされる数もたす数も、数が (大きく ・ 小さく) なり、くり上がりが (百) のくらいにもありそう。
- ・くり上がりに気をつけて、計算してみよう。

2 数えぼうを使いながら、634 + 589のひっ算のしかたを考えよう。

① まず、 < 数えぼう > を合わせる。

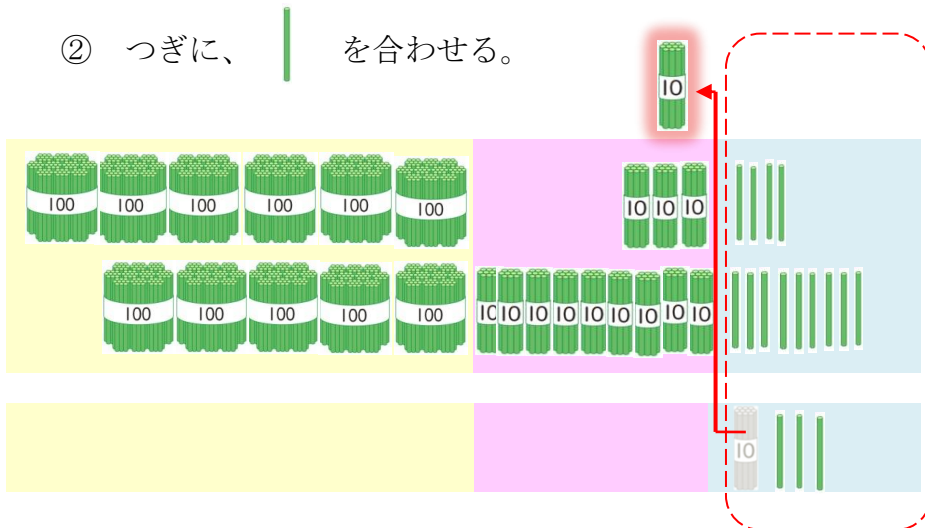
< ひっ算 > (くらい) をそろえてかく。



	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	6	3	4
+	5	8	9
<hr/>			

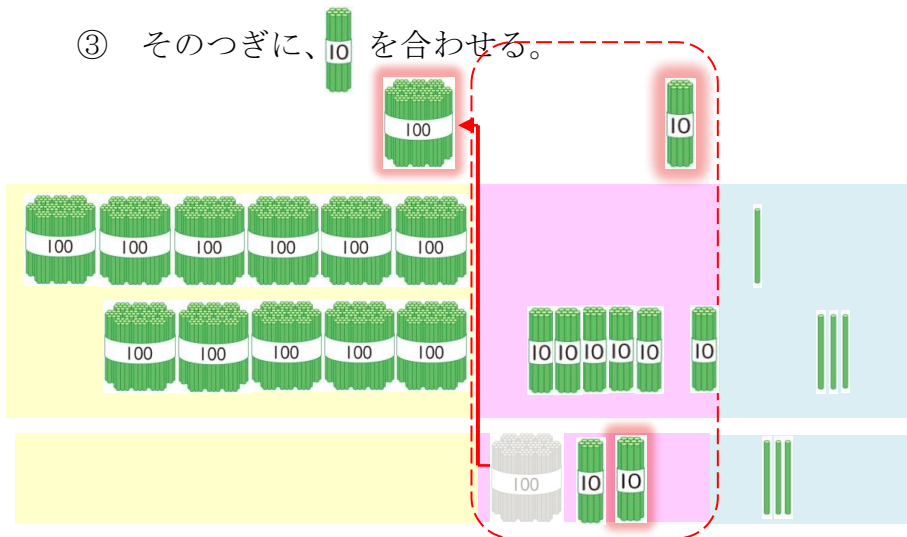
② つぎに、 を合わせる。

(-) のくらいから計算する。



	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	6	3	4
+	5	8	9
<hr/>			
			3

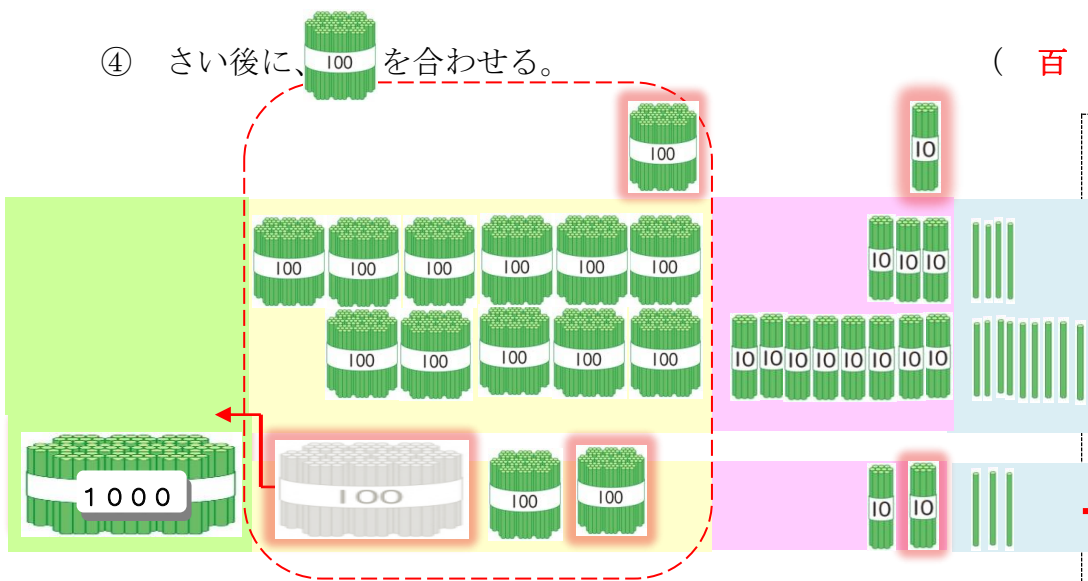
③ そのつぎに、10 を合わせる。



(+) のくらいから計算する。

	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	1	1	
	6	3	4
+	5	8	9
<hr/>			
		2	3

④ さい後に、100 を合わせる。



(百) のくらいから計算する。

	千のくらい	百のくらい	十のくらい	一のくらい
		1	1	
		6	3	4
+		5	8	9
<hr/>				
	1	2	2	3

⑤ こたえは、(1 2 2 3) だ。

3 このもんだいで分かったことをまとめよう。

634 + 589 のように、百のくらいにくり上がりがあるたし算のひっ算も、一のくらいや十のくらいと (同じ) ように、1つ (大きい・小さい) (千) くらいにくりあげて計算できる。

百のくらいにくり上がりがあるたし算のひっ算のしかたについて、

(よく分かったよ・分かった・少し分かったかな)。

今日の学習は、(とても楽しかったよ・楽しかった・少し楽しかったかな)。

4 学習したことを自分のものにするために、れん習もんだいをしよう。

㉞ 753 + 264

㉟ 856 + 149

㊱ 994 + 6

千の くらゐ	百の くらゐ	十の くらゐ	一の くらゐ
	1		
	7	5	3
+	2	6	4
1	0	1	7

	1	1	
	8	5	6
+	1	4	9
1	0	0	5

	1	1	
	9	9	4
+			6
1	0	0	0

一や十や百のくらいの
(0) をかきわすれない。

これでもうたし算のひっ算はかせだ。
おめでとう！！

一人でも

ひき算のひっ算はかせになれるよ no1

3年 組 ()

P42

P43



みさきさんは、324ページの本を読んでいます。
 今までに182ページ読みました。
 のこりは何ページですか。

1 このもんだいで分かっていることをせいりしよう。

- ・みさきさんの読んでいる本ののこりのページを知りたいので、(たし算・ひき算)になる。
- ・しきは、【ぜんぶのページ】(+・-)【読んだページ】で、(324 - 182)。
- ・ぜんぶのページも読んだページも、(3)けたです。
- ・(3)けたどうしの(ひき)算は、今までに計算したことが(ある・ない)。
- ・(2)けたどうしのひき算や3けたから2けたをひくひき算は、(ひっ算)で計算したことがある。
- ・また、3けたどうしでも、たし算は、けたの数が大きくなっても、(同じように)計算でできた。
- ・3けたどうしのひき算も、(3)けたから(2)けたをひくひき算と同じように、(ひっ算)で計算してみよう。

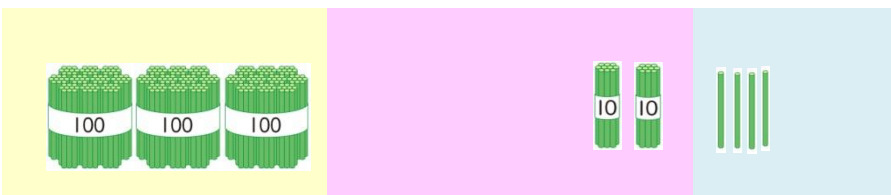
2 数えぼうでたしかめながら、324-182のひっ算のしかたを考えよう。

< 数えぼう >


< ひっ算 >

① まず、324をよういする。

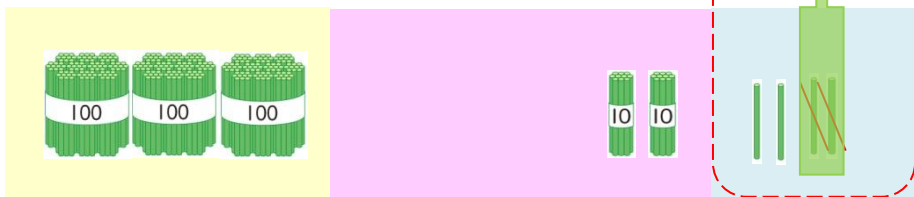
(くらい) をそろえてかく。



	百のくわい	十のくわい	一のくわい
	3	2	4
-	1	8	2

② つぎに、 を2本へらす。

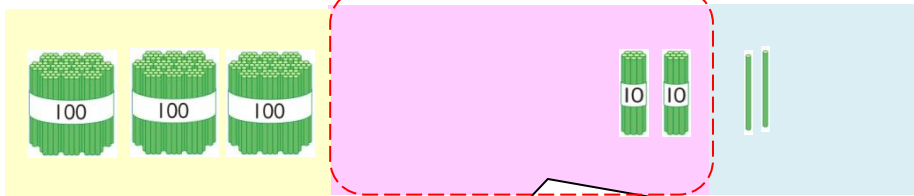
(-) のくらいから計算する。




	百のくま	十のくま	一のくま
	3	2	4
-	1	8	2
			2

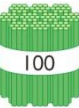


③ そのつぎに、 を8たばへらす。

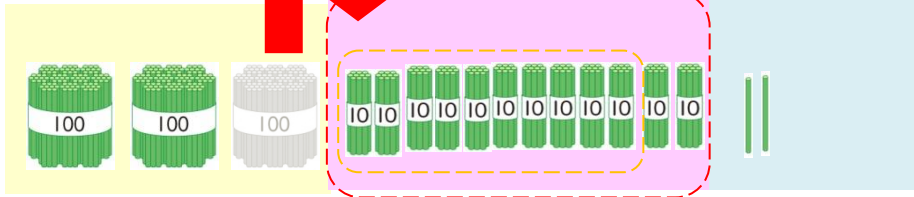
(+) のくらいを計算する。




	百のくま	十のくま	一のくま
	2		
	3	12	4
-	1	8	2
			2

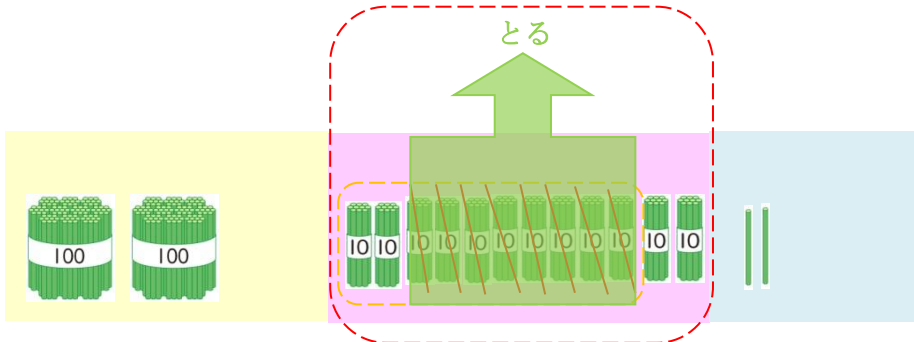
ちょっとまって!!  のへやには2たばしかないよ。

そんなときには、 を  10たばにかえて、 のへやに入れるんだった。それを、(**くり下がる**) と言った。



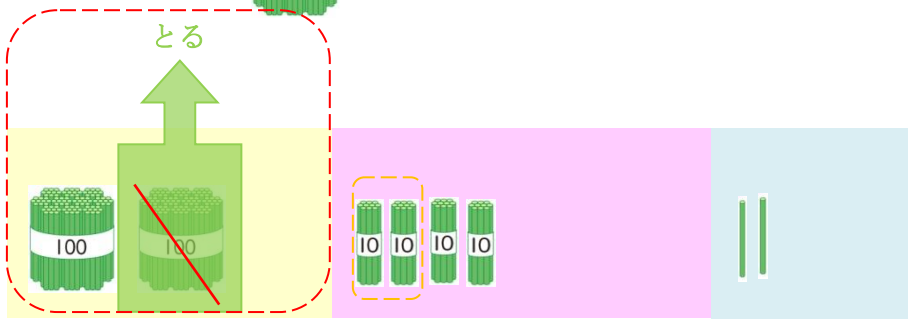
	百のくま	十のくま	一のくま
	2		
	3	12	4
-	1	8	2
		4	2

これなら  を8たばへらせるよ。



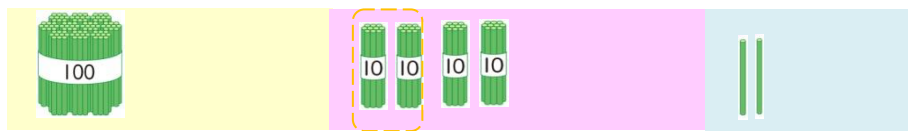
④ さい後に、 をへらす。

(**百**) のくらいを計算する。



	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	2		
	3	12	4
-	1	8	2
	1	4	2

⑤ だから、こたえは (**142**) ページです。



3 このもんだいで考えた、3けたどうしのひき算のひっ算のしかたをまとめよう。

(3けた) - (3けた) のひき算も、(3けた) - (2けた) と (**同じ**) ようにひっ算で計算できる。

また、たし算のひっ算と同じように、けた数が (**大きく**) なっても、(**くらい**) をそろえてかき、(**-**) のくらいから計算する。

※ひけなかったら、大きいくらいから (**くり下げる**) 。

(3けた) - (3けた) のひき算のひっ算のしかたについて、

(よく分かったよ・分かった・少し分かったかな)。

今日の学習は、(とても楽しかったよ・楽しかった・少し楽しかったかな)。

4 学習したことを自分のものにするために、れん習もんだいをしよう。

㊦ $172 - 154$

	百のくらい	十のくらい	一のくらい
		6	
	1	7	12
-	1	5	4
	0	1	8

一番大きいくらいが0になったら、
0は (**かく・かかない**) 。

④ $980 - 74$

		7		
	9	8	10	
-		7	4	
<hr/>				
	9	0	6	

とちゅうのくらいが0になったら、
0は (かく・かかない)。

⑤ $272 - 268$

		6		
	2	7	12	
-	2	6	8	
<hr/>				
	0	0	4	

とちゅうのくらいが0になったら、
0は (かく・かかない)。
一番大きいくらいが0になったら、
0は (かく・かかない)。

⑥ $210 - 190$

		1		
	2	11	0	
-	1	9	0	
<hr/>				
	0	2	0	

一のくらいが0になったら、
0は (かく・かかない)。

これで、ひき算のひっ算もどんどんできそうだ。
もっとむずかしいもんだいにちょうせんするぞ～。

一人でも

ひき算のひっ算はかせになれるよ no2

3年 組 ()

P 4 4 3 2 1 - 1 8 5をひっ算で、計算しましょう。

2 このもんだいを考えるために、これまで学習したことをせいりしよう。

- このもんだいは、(3) けた - (3) けたのひき算のひっ算です。
- ひき算のひっ算は、たし算のひっ算と同じで、けた数が大きくなっても、同じように計算(できる・できない)。
- この(3) けたどうしのひき算のひっ算は、くり下がりが、(-) のくらいと(+) のくらいの(2) 回ありそう。
- (3けた) - (2けた) でも、くり下がりが2回あったもんだいが(あった・なかった)。
- このもんだいも、くり下がりに気をつけて計算してみよう。

3 くり下がりに気をつけながら、3 2 1 - 1 8 5のひっ算のしかたを考えよう。

< 数えぼう >

< ひっ算 >

① まず、3 2 1をよういする。

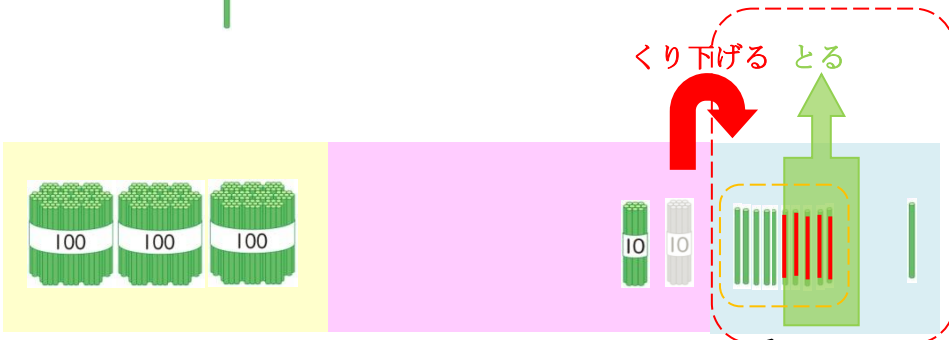
(くらい) をそろえてかく。



	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	3	2	1
-	1	8	5
<hr/>			

② つぎに、 をへらす。

(-) のくらいから計算する。

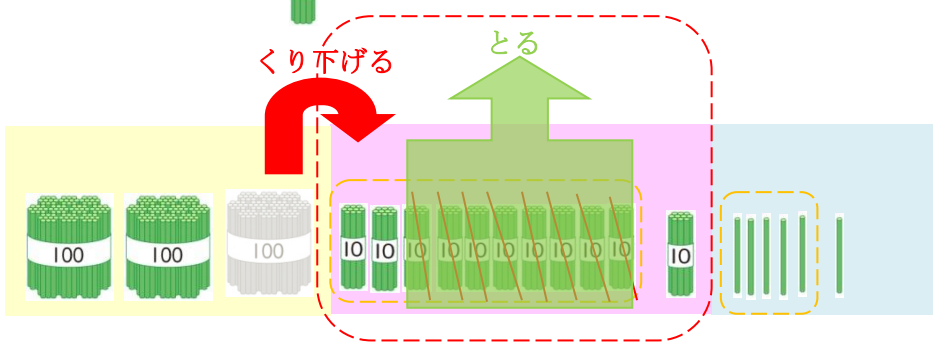


十のくらいから (1) くり下げて、
(1 1 - 5 = 6) です。

	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	3	2 1	1
-	1	8	5
<hr/>			
			6

③ そのつぎに、10 をへらす。

(十) のくらいを計算する。

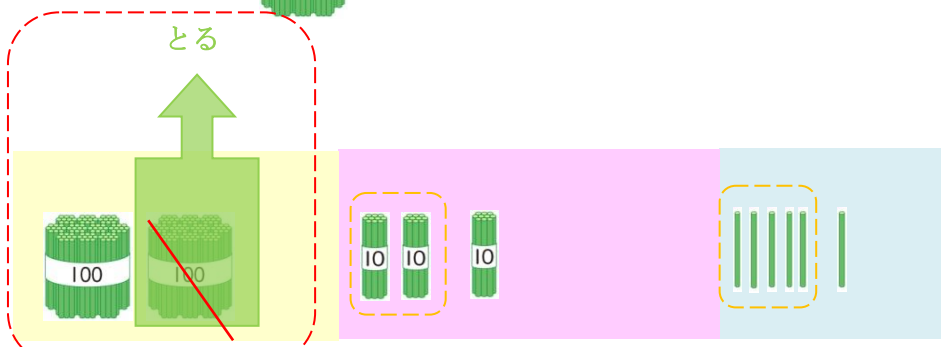


	3	2	11
-	1	8	5
		3	6

どうして十のくらいが3になるかと言うと、
 (くり下げたから のたばは1。1から8はひけなので、
 百のくらいから1くり下げると、 $11 - 8 = 3$ になる)から。

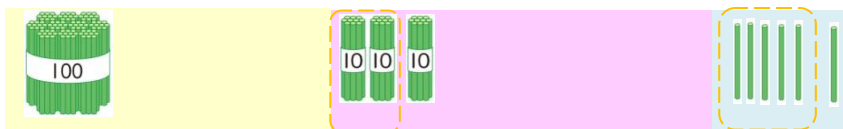
④ さい後に、100 をへらす。

(百) のくらいを計算する。



	3	2	11
-	1	8	5
	1	3	6

⑤ こたえは (136)。



<ワンポイントアドバイス>

ひき算がにが手な人は多いですね。
 正しいかどうかふあんですね。
 そんなときは何でも計算したり、
 ひき算は、(たし算) にしたり
 してたしかめましょう。

$$555 - 177$$

	4	14	
3	5	5	15
-	1	7	7
	3	7	8

3	7	8
+	1	7
	5	5

3 このもんだいで分かったことをまとめよう。

321 - 185 のようなくり下がりが2回あるひき算のひっ算も、
 くり下がりが1回あるひき算のひっ算と同じように、1つ (大きい) くらいから
 くり下げれば、計算できます。

くり下がりが2回あるひき算のひっ算のしかたについて、
 (よく分かったよ・分かった・少し分かったかな)。
 今日の学習は、(とても楽しかったよ・楽しかった・少し楽しかったかな)。

4 学習したことを自分のものにするために、れん習もんだいをしよう。

㊦ $321 - 164$

	(百) の く ら い	(十) の く ら い	(一) の く ら い
	2 ¹¹	11 ²	11
-	1	6	4
<hr/>			
	1	5	7

㊧ $990 - 899$

	8 ¹⁸	9 ¹⁰	
-	8	9	9
<hr/>			
	0	9	1

一番大きいくらいが0になったら、
0は(**かかない**)。

㊨ $541 - 48$

	4 ¹³	5 ¹¹	
-		4	8
<hr/>			
	4	9	3

百のくらいの計算をわすれずにします。

($4 - 0 = 4$)

くり下げのあるひき算のひっ算もへっちゃらだよ。
もっともっとむずかしいもんだいにちょうせんするぞ～。

一人でも

ひき算のひっ算はかせになれるよ no3

このもんだいが計算できれば、はかせになれるよ。

3年 組 ()

P 4 5 3 0 2 - 1 6 5をひっ算で、計算しましょう。

2 このもんだいを考えるために、これまで学習したことをせいりしよう。

- このもんだいは、(3) けた - (3) けたのひき算のひっ算です。
- ひき算のひっ算は、たし算のひっ算と同じで、けた数が大きくなっても、同じように計算(できる・できない)。
- 3けたどうしのひき算のひっ算でくり下がりが(2)回あっても、大じょうぶ。
- この3けたどうしのひき算は、ひかれる数の十のくらいが(0)で、くり下がりがむずかしそうだ。
- このもんだいも、くり下がりのしかたをよく考えて計算してみよう。

3 くり下がりのしかたをよく考えて、302-165のひっ算のしかたを考えよう。

< 数えぼう >


< ひっ算 >

① まず、302をよういする。

(くらい)をそろえてかく。







	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	3	0	2
-	1	6	5
<hr/>			





② つぎに、をへらす。

(-)のくらいから計算する。



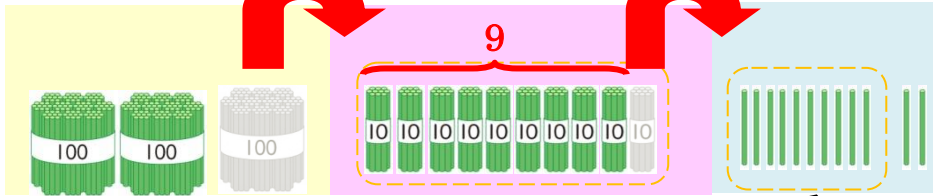
	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	3	0	2
-	1	6	5
<hr/>			

ちょっとまって!! がたりないので、を 10本にかえようと思ったけれど、がない!! どうしよう。

そんなときには、 を  10 本にかえて、 のへやに入れて、そのうちの1本を  10 本にかえて、くり下げるだ。

① 1 くり下げる


② 1 くり下げる

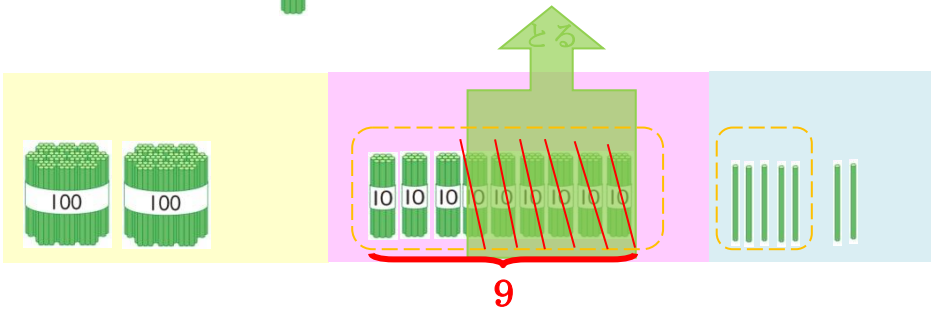


これなら 1 を 5 本へらせるよ。

	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	2	9	
	3	0	12
—	1	6	5

	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	2	9	
	3	0	12
—	1	6	5
			7

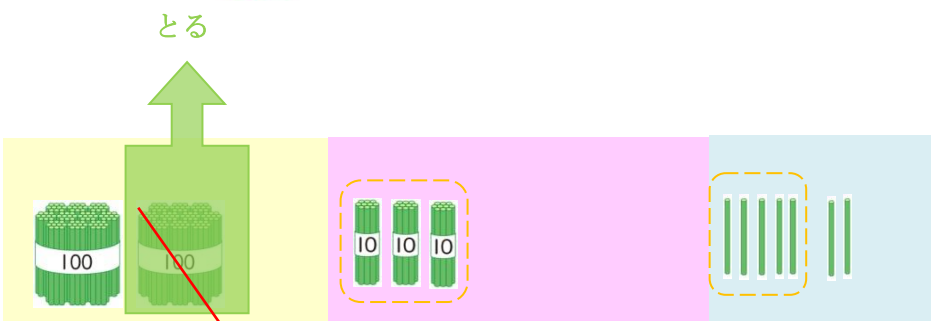
③ そのつぎに、 をへらす。



(十) のくらいを計算する。

	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	2	9	
	3	0	12
—	1	6	5
		3	7

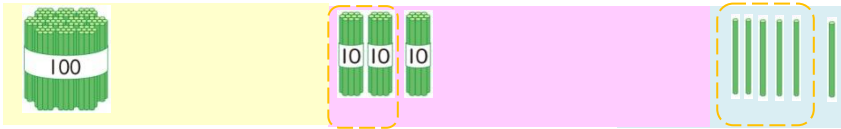
④ さい後に、 をへらす。



(百) のくらいを計算する。

	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	2	9	
	3	0	12
—	1	6	5
	1	3	7

⑤ こたえは (137)。



3 このもんだいで分かったことをまとめよう。

302 - 165 のような、ひかれる数の十のくらいが0のひき算のひっ算は、(百) のくらいからじゅんにくり下げれば、計算できる。

ひかれる数の十のくらいが0のひき算のひっ算のしかたについて、
 (よく分かったよ・分かったよ・少し分かったかな)。
 今日の学習は、(とても楽しかったよ・楽しかった・少し楽しかったかな)。

4 学習したことを自分のものにするために、れん習もんだいをしよう。

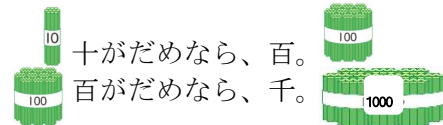
㊦ 300 - 126

	百の く ら い	十の く ら い	一 の く ら い
	2	9	
	3	0	¹ 0
-	1	2	6
	1	7	4

㊧ 1000 - 368

	百 の く ら い	十 の く ら い	一 の く ら い
	0	9	9
	1	0	0
-		3	6
		6	8
		6	3
		3	2

くり下げられないときには、どん
 どん大きいくらいからくり下げる。



十がだめなら、百。
 百がだめなら、千。

1つ大きいくらいからくり下げられないひき算のひっ算が
 計算できるようになったら、もうはかせ。おめでとう！！
 これで、どんなひっ算も計算できるね。

一人でも

たし算・ひき算のひっ算はかせになれるよ no 1

はかせならできるよ。がんばろう。

3年 組 ()

P 4 7 5 6 7 8 + 1 4 1 4、8 4 7 2 - 7 6 5 4をひっ算で、計算しましょう。

2 このもんだいを考えるために、これまで学習したことをせいりしよう。

- ・このもんだいは、(4) けたどうしのたし算やひき算のひっ算です。
- ・たし算のひっ算もひき算のひっ算も、けた数が大きくなっても、同じように計算(できる・できない)。
- ・このもんだいも、くり上がりやくり下がりのしかたをよく考えて計算してみよう。

3 くり上がりやくり下がりのしかたをよく考えて、ひっ算のしかたを考えよう。

< 5 6 7 8 + 1 4 1 4 >

< 8 4 7 2 - 7 6 5 4 >

① まず、(くらい) をそろえてかく。

	千の くら い	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	5	6	7	8
+	1	4	1	4
<hr/>				

	千の くら い	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	8	4	7	2
-	7	6	5	4
<hr/>				

② つぎに、(-) のくらいから計算する。

	千の くら い	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	5	6	7	8
+	1	4	1	4
<hr/>				
			1	2

	千の くら い	百の くら い	十の くら い	一の くら い
	8	4	7	2
-	7	6	5	4
<hr/>				
			6	8

しき (8 + 4 = 1 2)

しき (1 2 - 4 = 8)

③ そのつぎに、(+) のくらいを計算する。

	千の くらい	百の くらい	十の くらい	一の くらい
	5	6	7	8
+	1	4	1	4
<hr/>				
			9	2

しき ($1 + 7 + 1 = 9$)

	千の くらい	百の くらい	十の くらい	一の くらい
	8	4	7	12
-	7	6	5	4
<hr/>				
			1	8

しき ($6 - 5 = 1$)

④ さらに、(百) のくらいを計算する。

	千の くらい	百の くらい	十の くらい	一の くらい
	5	6	7	8
+	1	4	1	4
<hr/>				
		0	9	2

しき ($6 + 4 = 10$)

	千の くらい	百の くらい	十の くらい	一の くらい
	8	4	7	12
-	7	6	5	4
<hr/>				
		8	1	8

しき ($14 - 6 = 8$)

④ さらに、(千) のくらいを計算する。

	千の くらい	百の くらい	十の くらい	一の くらい
	5	6	7	8
+	1	4	1	4
<hr/>				
	7	0	9	2

しき ($1 + 5 + 1 = 7$)

	千の くらい	百の くらい	十の くらい	一の くらい
	8	4	7	12
-	7	6	5	4
<hr/>				
		8	1	8

しき ($7 - 7 = 0$)

3 このもんだいで分かったことをまとめよう。

3けたでも4けたでも、(何) けたでも、ひっ算で計算できる。

4けたどうしのひっ算のしかたについて、
 (よく分かったよ・分かったよ・少し分かったかな)。
 今日の学習は、(とても楽しかったよ・楽しかった・少し楽しかったかな)。

4 学習したことを自分のものにするために、れん習もんだいをしよう。

㊦ $9876 + 59$

	千の くらい	百の くらい	十の くらい	一の くらい
		1	1	
	9	8	7	6
+			5	9
	9	9	3	5

㊧ $1250 - 852$

	千の くらい	百の くらい	十の くらい	一の くらい
	0	11	14	
	1	2	5	10
-		8	5	2
		3	9	8

これで、あなたはたし算・ひき算のひっ算はかせ。